

特別企画：平成の大型倒産一覧（栃木県版）

栃木県の「平成」大型倒産・上位 20 社

栃木県内企業における、平成元年（1989 年）～平成 31 年（2019 年）※の平成 30 年間に発生した大型倒産・負債額上位 20 社の一覧は以下の通り。

※2019 年 4 月 25 日判明分まで

平成の大型倒産(上位20社)

年月	TDB 企業コード	倒産企業名	業種名	負債額(百万)	態様	市町村
平成23年8月	200798903	(株) 安愚楽牧場	肉用牛生産業	433,083	民事再生法	那須塩原市
平成12年8月	986050442	(株) ヒルクレストゴルフクラブ	ゴルフ場	50,000	民事再生法	佐野市
平成13年10月	240039257	(株) シモレン	セメント卸	37,600	民事再生法	野木町
平成13年1月	240023248	熊谷商事 (株)	建物売買業	34,016	民事再生法	宇都宮市
平成3年1月	240186379	ラストル化学 (株)	塗料・インク製造	29,834	任意整理	栃木市
平成16年3月	240095560	(株) 栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部	ゴルフ場	27,200	民事再生法	栃木市
平成7年5月	240245291	シュガーアイランド (株)	旅館・ホテル	27,000	和議	宇都宮市
平成12年7月	240216763	東松苑 (株)	ゴルフ場	25,400	民事再生法	足利市
平成13年3月	983721276	(株) エヴァンタイユ	ゴルフ場	25,200	民事再生法	栃木市
平成18年1月	240032846	(株) 観山	旅館・ホテル	25,096	特別清算	日光市
平成14年12月	240296595	総観 (株)	他の証券業類似業	24,000	民事再生法	足利市
平成31年1月	982109971	サンユウ産業 (株)	ゴルフ場	23,200	民事再生法	鹿沼市
平成7年6月	240263389	南那須観光 (株)	スポーツ施設提供業	23,000	和議	宇都宮市
平成20年7月	983495710	(株) サンヒルズ	ゴルフ場	22,675	民事再生法	宇都宮市
平成18年12月	240082884	葵地所 (株)	旅館・ホテル	21,500	特別清算	那須塩原市
平成20年2月	982583925	(株) 紫塚スポーツシティ	スポーツ施設提供業	21,000	民事再生法	さくら市
平成10年7月	240311001	(株) 東鳥山カントリー倶楽部	ゴルフ場	20,000	任意整理	那須烏山市
平成13年4月	984278875	(株) 馬頭ゴルフ倶楽部	ゴルフ場	19,400	民事再生法	那珂川町
平成13年11月	240316956	那須伊王野観光 (株)	ゴルフ場	19,000	民事再生法	那須町
平成17年12月	240175704	足銀不動産管理 (株)	貸事務所業	18,500	特別清算	宇都宮市

帝国データバンク宇都宮支店では、平成時代 30 年間を顧みる意味で、企業倒産の歴史をひもといてみた。負債額上位 20 社は上表の通りである。栃木県内における平成最大の倒産は、2011 年（平成 23 年）8 月に民事再生法の適用を申請した（株）安愚楽牧場（那須塩原市）で、負債額は 4330 億円にのぼった。肉牛飼育、和牛預託オーナー制度の運営を行っていたが、資産が著しく縮小し、肉牛の売買代金債務（オーナー債権）が負債を押し上げた。経営者が詐欺容疑で逮捕されるなど、社会問題化した事案であった。二番目には 2000 年（平成 12 年）8 月に民事再生法の適用を申請した（株）ヒルクレストゴルフクラブ（佐野市・旧田沼町）で、負債額は 500 億円であった。田沼地区に「ヒルクレストゴルフクラブ」の名称でゴルフコースを運営していたが、バブル崩壊

により利用者の減少と、預託金償還の問題を抱えて法的整理を申請した。三番目は、2001年（平成13年）10月に民事再生法の適用を申請した（株）シモレン（野木町）で、負債額は376億円であった。生コン、セメント販売を中心に骨材、コンクリート二次製品などを販売していた。一方で、「ロイヤルホースライディングクラブ」の名称で乗馬クラブを運営するなど、多角化を推進したが、主業の業況不振が要因となって法的整理を申請したものの。

なんといっても（株）安愚楽牧場の一件は非常に印象に残っているわけだが、負債額200億円を超える事案が30年間で17件も発生したことや、上位20社のうちにゴルフ場及びゴルフ場関連事業が11社と過半数を超えるなど、栃木県らしい特徴的な事実も目についた。

平成30年間の年別倒産件数と、負債総額については、次頁表の通りである。因みに任意整理と法的整理の区別について説明をしておく。帝国データバンクでは、倒産集計を行うに当たり、倒産の基準を法的整理したもの（会社更生法、民事再生法、旧・和議法、破産）に加えて、不渡り事故を起こし銀行取引停止処分を受けた企業、事業を停止し法的整理はしなかったが裁判所を通さずに内整理（自主整理）した企業などを、「任意整理」というカテゴリーで倒産カウントを行っていた。2000年以降については、これは倒産件数にカウントせずに単純に法的整理を行った企業を倒産としてカウントするようになったため、全く連続性はないものとなっているのだ。因みに、1999年以前の法的整理件数が少ないと思われるだろうが、これは重複カウントを避けるため、任意整理段階でカウントしたものは、その後法的整理してもカウントしないというルールであったためである。

いずれにしても、改めて負債額のすさまじさと、これだけの金額が償却されていった事への感慨を深く感じた次第だ。「令和」に入り、やや景況感も怪しい今日この頃だが、企業倒産が社会に与える影響は大きく、企業の健全な経済活動のためには、回避しなければならない事態である事は云うまでもない。令和時代も各企業が清祥に発展されることを願ってやまない。

栃木県倒産件数・負債総額推移

倒産件数

年	任意整理	法的整理	総計
1989	57	1	58
1990	51	2	53
1991	95	11	106
1992	105	14	119
1993	129	17	146
1994	118	13	131
1995	148	24	172
1996	119	16	135
1997	151	17	168
1998	166	21	187
1999	169	15	184
2000	-	52	52
2001	-	84	84
2002	-	43	43
2003	-	57	57
2004	-	68	68
2005	-	63	63
2006	-	78	78
2007	-	69	69
2008	-	134	134
2009	-	160	160
2010	-	150	150
2011	-	100	100
2012	-	116	116
2013	-	114	114
2014	-	92	92
2015	-	134	134
2016	-	136	136
2017	-	124	124
2018	-	120	120

負債総額(単位:百万円)

年	任意整理	法的整理	総計
1989	5,195	2,040	7,235
1990	10,797	450	11,247
1991	58,585	15,038	73,623
1992	78,850	25,746	104,596
1993	37,566	25,718	63,284
1994	29,748	20,628	50,376
1995	25,063	69,667	94,730
1996	23,928	11,299	35,227
1997	45,024	24,704	69,728
1998	58,916	25,582	84,498
1999	44,713	7,867	52,580
2000	-	143,354	143,354
2001	-	190,466	190,466
2002	-	61,748	61,748
2003	-	36,298	36,298
2004	-	90,989	90,989
2005	-	56,053	56,053
2006	-	117,348	117,348
2007	-	45,113	45,113
2008	-	116,323	116,323
2009	-	82,122	82,122
2010	-	45,331	45,331
2011	-	470,005	470,005
2012	-	35,507	35,507
2013	-	28,331	28,331
2014	-	18,289	18,289
2015	-	18,407	18,407
2016	-	34,802	34,802
2017	-	19,872	19,872
2018	-	15,504	15,504

※1989～99年は任意整理を含めた件数(倒産ファイル収録件数)、2000年以降は法的整理のみの件数(倒産集計収録件数)

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 宇都宮支店 情報担当：古川 哲也

TEL 028-636-0222 FAX 028-633-5639

リリース資料以外の集計・分析については、お問い合わせ下さい(一部有料の場合もございます)。

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。